

茨城県土浦市宍塚の里山の保全（目標・筋道）手段 及川ひろみ（認定NPO法人 宍塚の自然と歴史の会）

活動目標：・宍塚の里山の価値・宝を生かした保全策の具体化
（生物の多様性を基本に考えた里山の保全と活用）
（宍塚の里山を環境教育の場として活用）

環境の概要

宍塚の里山は宍塚大池（3.5ha）を中心に約100ha、雑木林・谷津田・湿地・草原・小川・竹林・植林地など、多様な環境から成り立っている。会では里山の環境要素ごとに、生物の多様性を求めた保全活動を行っている。参加者は、地元との協働、会員ボランティア、民間企業、大学生・中学生のサークルなどの活動など。活動費用は、会費、国、地方公共団体、民間団体の委託や助成金、寄付などにより賄う（認定団体であることから企業などからの寄付が多い）。どの環境も活動前に生き物調査を行い環境状況の把握を行っている。宍塚の里山は環境省モニタリングサイト重要監視地域第一号地に指定され、会の活動はユネスコ未来遺産、農山漁村村の宝に登録されている。開始年：雑木林・竹林・池 1990年～ 草原 2008年～ 谷津田 1995年～ 小川 2008年～ 湿地 2009年～

雑木林の保全

夏、下草を刈ると、多くの植物が消滅することから、主に冬の草刈り、落ち葉掻き、常緑樹の伐採、可能な限り高木の伐採を行っている。2013年からは農林水産省の助成金を得、地元からの依頼も広がり保全面積が一段と広がった。

竹林

竹林は放置すると拡大し、雑木林などの森林植生が失われ、竹林土壌の変化、土壌の水環境への影響などを起こす。拡大を止めるための伐採を4か所で行い、真竹、孟宗竹林の1m伐りによる伐採を行っている、伐採後に成長するアカメガシワ、外来植物は取り除いている。なるべく伐採後の竹は粉碎処理を行い、粉碎物は里山路の舗装等に使用。

草原

昭和22年から地元の方によって冬季の草刈り落ち葉掻き続けられてきた場所を、その後会が継続して草刈り落ち葉掻きを行っている。宍塚ではここにのみ見られる植物が数多くある。草刈り・落ち葉掻きのやり方は地元の古老から指導を受け実施している。

谷津田

カヤネズミの生息場所、フクロウ、タカ類が餌を狩る場として、またアカガエル幼生の生息地として、アシなどの谷津の草を冬に刈る一方、冬季湛水を行う田、4m間隔の水路の確保した田、更に年間を通して水を貯える浅い溜まりなど水環境を整えている。また池の上部の谷津田では、水質改善を図るために脱窒用浅い溜まりを作り、池への流入水の改善を図っている。

大池

ブルーギル、ブラックバス、アメリカザリガニ、ウシガエルなどの外来生物を定置網、袋網、籠などを使い捕獲・駆除を行っている。また水質・動物プランクトン量の計測を行っている。これらの結果をもとに専門家と調査・活動の検討を行っている。

小川

樹木の間を流れる小川は、秋になると樹木の葉が落ち、たまった落ち葉が腐り小川の底は酸欠状態になる。昔地元で春先行っていた「ミイざらい」（落ち葉を掻き出す作業）を冬の間にやっている。

湿地

湿地は放置するとアシやヤナギなどに覆われ、貴重な動植物などが消滅する危険があります。年3回の調査を受け検討を行い次年度の耕耘の有無などの活動を計画。外来植物の引き抜きなどを行うとともに、浅い池の確保などを行っている。

戦略1：宍塚の里山環境を保全活動するにあたり、活動前に生物調査を行い、その結果を受け、専門家も加わった将来展望に立った順応的な管理の提言を受け、保全管理に取り組んでいる。

戦略2：地元との連携 地元の方40名以上から、かつての里山の暮らしを聞き取り、「聞き書き里山の暮らしー土浦市宍塚」「続聞き書き里山の暮らしー土浦市宍塚」を出版。この活動を通して、地元の方々との密接な関係を構築した。

伝統行事や味噌づくり活動などを通して地元とのかかわりが継続している。

地元の小学校との連携活動

- ・つくば、土浦の小中学校への働きかけ

戦略3：土浦市・茨城県等、行政との関係構築

- ・市担当課、県担当課との保全学習会の開催（25回債祭）
- ・土浦市は各課・部長・市長、毎月会報「五斗蒔だより」の購読
- ・土浦基本計画等への関わり、要望書の提出
- ・茨城県、関係部署（環境・農政・林政・観光・企画・秘書課・知事等に会報の購読
- ・茨城県請願の提出、
- ・知事・市長訪問

戦略4：土地の購入（2011年、147000㎡取得）さらに購入を目指している。

戦略5：連携による活動

- ・行政、
- ・企業（富士通・(株)LIXIL等々
- ・大学 筑波大学2002年から（実習受け入れ、共同研究）茨城大学2011年から（研究と保全）、筑波学院大学2006年から（学生指導）法政大学2002年から（学びと活動）、中学、高校、専門学校（看護学校2007年から）
- ・市民団体
- ・むらまちネット（県）大好きいばらき
- ・研究所（国立環境研究所、森林総合研究所、中央農研等）
- ・茨城県自然博物館、国立科学博物館、土浦市博物館等々
- ・他団体の受け入れ（JICA、市民団体、行政等の視察研修）

戦略6：学習会の開催

- ・保全学習会（茨城県環境政策担当課・企画・農政・林政・観光等、土浦市都市計画課・環境保全課 これまで25回実施）

戦略7 会の活動は環境教育（生物の多様性・持続可能な社会の構築）

戦略8：里山を保全に向けた要望・陳情・請願等を茨城県、土浦市に提出

課題：宍塚の里山、価値・宝を生かした活動を更に広げ、行政による里山を未来に伝える位置づけを明確化する